

## 研修のねらい

- 他者との議論に感情的にならずに、自分の意見を発言できるようになります。
- 論理的思考が身に付きます。
- 住民や上司を説得することに自信が持てるようになります。

真の地方分権を実現するためには、「官→官の地方分権」から「官→民の地方分権」へとシフトしなければなりません。そして、その活動は政治的・権力的・妥協的に収斂する活動ではなく、公共への合意に向けて建設的・道徳的・合理的な活動でなければなりません。そのため、分権時代の自治体職員はそれぞれの場（職場や住民との交渉など）において、疑問と議論を復権させることが求められます。

この研修では、日常業務では養うことが困難である真摯な態度で議論する力（論理的思考と的確な判断力、創造的問題解決能力、表現力及び説得力）を養い、リアクティブ型（指示されたことを正しく行う職員）からプロアクティブ型（自発的に正しいことを行う職員）への態度の変容をめざします。

※ 下記の内容は一例です。ご要望にあわせてカリキュラムをご提案いたします。

	1日目	2日目
午前	1. なぜディベート能力か ～ 議論と説得の流れ ～ 2. 対立が創造性を発揮させる ◇ ディベート・ビデオ事例 ◇ 3. ディベートの進め方 (1) 議論とは (2) 主張と証明方法について (3) 反駁(はんぱく) (4) 総括の方法 (5) ルールについて 4. グループ研究 その1 (肯定×否定)	◇ ディベート演習 II ◇ (肯定×部分否定: 2回実施) 肯定立論→尋問→否定立論→尋問→ 反駁(はんぱく)/総括→反駁(はんぱく)/総括→ジャッジとコメント 6. 企画提案型のディベートとは 7. 論題の変化と対応について 8. 比較議論の方法論
午後	◇ ディベート演習 I ◇ (肯定×否定: 2回実施) 肯定立論→尋問→否定立論→尋問→ 反駁(はんぱく)/総括→反駁(はんぱく)/総括→ジャッジとコメント 5. グループ研究 その2 (肯定×部分否定)	9. 企画提案の手順と分析方法解説 10. グループ研究 その3 (企画提案型) ◇ 企画提案ディベート演習 III ◇ ※ 事前に与えられたテーマ又は実際の企画/業務テーマ などを選出し、グループごとに施策を立案し、演説会風に 議論を戦わせる 11. まとめ